

HU  
150

日本・ハンガリー外交関係開設150周年記念事業  
2019年度横浜市青葉区民文化センターフィリアホール区民企画事業

梯 剛之

LET'S COME TOGETHER  
色鮮やかな音の世界へ  
ようこそ!

松本 紘佳

2019年

11月28日[木]午後19時開演

フィリアホール

(横浜市青葉区民文化センター)

KOHÁN  
István

届け、君に。

美味しいものを食べる時、一人より誰かと分かち合う方が  
美味しく感じるように、音楽も、誰かと一緒に味わうと何倍も  
楽しい。響きの美しいフィリアホールに、おいでよ、君も。

LET'S COME TOGETHER!!

横浜市青葉区在住の小・中学生を200名無料招待します。  
希望者は、住所、氏名、年齢、連絡先メールアドレスを記載し

[ticket.info.222@gmail.com](mailto:ticket.info.222@gmail.com)

までお申し込みください。

LET'S COME TOGETHER は、クラシック音楽の持つポジティブな力で、  
未来を創る子どもたちをサポートしてまいります。  
ご賛同いただきサポーターズ席をご購入いただいた皆様には、  
8列7～18と9列7～18の指定席をご用意いたします。

自由席 2,500円 (愉音扱い)

2,700円 (フィリアホール チケットセンター扱い)

サポーターズ席 5,000円 (24席限定)

主催: 愉音

助成: 日本ハンガリー友好協会

協力: NPO法人まちと学校のみらい Let's come together  
株式会社ファンケル

後援: 駐日ハンガリー大使館 日本ハンガリー友好協会  
横浜市青葉区社会福祉協議会 横浜市青葉区役所

## Program

ショパン:

ノクターン 第8番 Op. 27-2 & 第13番 Op. 48-1 (梯 剛之)  
F. Chopin : Nocturne No.8 Op. 27-2 & No. 13 Op. 48-1

シュトラウス:

ヴァイオリンソナタ (松本 紘佳 & 梯 剛之)  
R. Strauss : Sonata for Violin and Piano

サラサーテ:

ナヴァラ (松本 紘佳, 萩原 淑子 & 松本 有理江)  
P. de Sarasate : Navarra

リスト (Kohán編曲):

ハンガリー狂詩曲 第12番 (Kohán István & 松本 有理江)  
F. Liszt : Magyar rapszódia No. 12

ガーシュウィン (Kohán編曲):

ラプソディー・イン・ブルー (Kohán István & 松本 有理江)  
G. Gershwin (Kohán arr.) : Rhapsody in Blue

他

### ◆チケット問い合わせ

#### ■愉音

御名前、御住所、ご連絡可能なメールアドレス、御希望チケット  
枚数を記載の上、以下メールアドレスまで。

[ticket.info.222@gmail.com](mailto:ticket.info.222@gmail.com)

#### ■フィリアホール チケットセンター

045-982-9999 (受付時間11:00~18:00 休館日: 毎月第3水曜日)

# 出演者プロフィール



## 梯 剛之 [ピアノ]

音楽家の両親のもと東京に生まれる。小児癌により生後1ヵ月で失明するが、音楽を聞かせると泣きやみ、メロディーを正確に再現した。玩具がわりにピアノに親しみ、4才半よりレッスンを始める。佐々木弥栄子、高岡慶子、阿部美果子氏に師事。90年八王子市立中山小学校卒業と同時にウィーン国立音楽大学準備科に入学、同年再び眼に悪性腫瘍を患い帰国し手術するも、翌年勉強を再開。主にエリザベート・ドヴォルザーク=ヴァイスハール教授に師事。

94年チェコの盲人弱者国際音楽コンクール、ドイツのエトリンゲン青少年国際ピアノコンクール（Bカテゴリー）で参加者中最年少優勝、豊かな音楽性を認められる。95年アメリカのストラヴィンスキー青少年国際コンクール第2位。97年村松賞受賞。98年ロン=ティボー国際コンクール（パリ）第2位およびSACEM賞（リサイタル賞）、シュヴィオン=ポノー財団賞受賞。99年都民文化栄誉章、出光音楽賞、点字毎日文化賞を受賞。2000年ショパン国際コンクールワルシャワ市長賞受賞。

これまでにプラハ交響楽団、国立サンクトペテルブルク交響楽団、フランス国立管弦楽団、ドレスデン歌劇場室内管弦楽団、ザルツブルグ・モーツァルトウム管弦楽団、マラー・チェンバー・オーケストラ、スロヴァキア・フィルハーモニー、仏国立ロアール管弦楽団、オストロボスニア室内管弦楽団、ロイヤル・ストックホルム・フィルハーモニー、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、バルカン室内管弦楽団など数多くのオーケストラでソリストを務める。指揮者では小澤征爾、ジャン・フルネ、ガリー・ベルティエニ、ユベール・スダーン、アラン・ギルバート、小林研一郎、ゲルト・アルブレヒト、ファビオ・ルイーシ、ダニエル・ハーディング他と共演、ライブツィヒ弦楽四重奏団とも重ねて共演している。これまでに国内はもとより、オーストリア、ドイツ、チェコ、スロヴァキア、フランス、イタリア、ロシア、スウェーデン、アメリカ、韓国、タイ、アルゼンチン、ブラジル、ウルグアイ、ベネズエラ、サラエボなどで演奏。2015年7月にはBunkamuraオーチャードホールで“徹子の部屋”クラシック2015”に出演。NHK「芸術劇場」、「クラシックアワー」、「N響アワー」、「毎日モーツァルト」、「ぴあのピア」、テレビ朝日「徹子の部屋」等テレビ、ラジオ出演も多い。2005年10月に「子供に伝えるクラシック制作委員会」を設立、約7年がかりでウィーンの生んだモーツァルト、ベートーヴェン、シューベルトの作品の弾き語りをDVDにし、文科大臣の推薦を得て日本全国の小学校、特別支援学校約2万3千校、海外の日本人学校・補習授業校約300校に無償配布、絶大な評価を得た。引き続き現在は各地の小中学校を訪問演奏活動を続けている。2013年以降毎年、ヴァイオリンのヴォルフガング・ダヴィッドとのデュオ・コンサートを開催。ソナーレ・アートオフィス、キングレコード、アートユニオン、アゴラ（伊）、毎日クラシックスより、モーツァルト、ショパン等、多くのCDをリリース。「ピアノ・リサイタル2013」SONARE1023、「W.ダヴィッド&梯 剛之デュオ・リサイタル2015」SONARE1030は「レコード芸術」誌で特選盤、「ピアノ・リサイタル2014」SONARE1027、「ピアノ・リサイタル2016」SONARE1031、「W.ダヴィッド&梯 剛之デュオ・リサイタルVol.III」SONARE1032、「W.ダヴィッド&梯 剛之デュオ・リサイタル2017」SONARE1041、「ショパン：ピアノ・ソナタ第2番&第3番」SONARE1043は同誌準特選盤に選ばれた。



## 松本 絃佳 [ヴァイオリン]

青葉区在住。10代前半より演奏活動を開始し、2008年ハンガリーにてリスト室内合奏団とヴィヴァルディ作曲「四季」全曲協演デビュー。第10回ヴィエニャフスキ・リピンスキ国際コンクール・ジュニア部門第2位、全日本学生音楽コンクール東京大会・全国大会小学校の部第1位、ユーティ・メニューイン賞（ドイツ・クロンベルクアカデミー）他受賞多数。ハンガリー・ジュール・シンフォニー管弦楽団、ドイツ・イェナシンフォニー管弦楽団、東京交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、オーケストラアンサンブル金沢、日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィル

ハーモニー管弦楽団 他共演多数。2017年7月までの3年間文化庁新進芸術家海外派遣研修員。オーストリア・ウィーン市音楽芸術大学を2016年7月に、同大学院修士課程を2019年3月にそれぞれ最優秀の成績で卒業。これまでに原田幸一郎、ザハール・ブロン、ジェラルド・プーレ、ボリス・クシュニール、ボリス・プロフツィンの各氏に師事。国内外で演奏活動を行うとともに、2018年4月より慶應義塾大学総合政策学部に学生として在籍。



## 萩原 淑子 [ヴァイオリン]

1983年中学卒業と同時にハンガリー政府給費留学生としてハンガリー国立リスト音楽院に留学。D.コヴァーチ、F.ラドシュ、L.フェニバシユに師事。1989年最優秀で卒業後、母校リスト音楽院で後進の指導にあたる傍ら、ブタペスト祝祭オーケストラの団員として世界各地で演奏を行う。在学中よりソリスト、室内楽奏者としてヨーロッパ、日本で積極的にコンサート活動を行い、ペレーニ・ミクローシュ、コチシュ・ゾルターン、マーティン・ロヴェット（アマデウス四重奏団）、ルカス・ハーゲンらと共演。

1999年よりザルツブルグと東京に拠点を置き、ザルツブルグ・カンマーフィルハーモニーの第二ヴァイオリン首席を2年務め、その後独立。登録文化財萩原家にてハギワラ音楽教室を主宰。https://hagiwaratei.com 2012年より、カメラータザルツブルグメンバー。日本ハンガリー友好協会及びNPO法人Archives of Organic Architecture Japan 理事。



## KOHÁN ISTVÁN [クラリネット]

ハンガリーの音楽家一家に生まれた気鋭のクラリネット・ソリスト。ハンガリー在住中より多くの国際コンクールで優勝・入賞する快挙を成し遂げる。ハンガリー・リスト音楽院卒業後の2013年7月に活動拠点を日本に移した。第11回東京音楽コンクール第1位及び聴衆賞受賞。第4回秋吉台音楽コンクール第1位及び山口県知事賞受賞。第26回日本木管コンクール第1位及びボコスモス賞、兵庫県知事賞、朝日新聞社賞、神戸新聞賞受賞。第84回日本音楽コンクール第1位及び岩谷賞（聴衆賞）、E.ナカミチ賞を受賞。2016年東京音楽大学大学院修了。2017年第26回青山音楽賞

受賞。これまでに新日本フィルハーモニー交響楽団（アントニオ・メンデス）、東京フィルハーモニー交響楽団（梅田 俊明・円光寺 雅彦・渡邊一正）、紀尾井シンフォニエッタ（澤 和樹）、ジュールフィルハーモニー交響楽団（ハンガリー：カールマン・ベルケシュ）、東京音楽大学シンフォニーオーケストラ（現田 茂夫）とコンチェルトを協演、またソロリサイタルや室内楽の活動を展開する他、2014年からは作曲家としても活動の幅を広げる。現在、東京音楽大学非常勤講師を務める。



## 松本 有理江 [ピアノ]

国立音楽大学付属中学・高等学校を経て同大学及び大学院ピアノ専攻をそれぞれ首席卒業。武岡鶴代賞、クロイツァー記念賞を受賞。ハンガリー政府給費を受け4年間リスト国立音楽院にてF.ラドシュ教授に師事。ハンガリー国営テレビ・ラジオにて演奏。ラヴィニアフェスティバル（アメリカ）スティーンズインスティチュートの奨学生として渡米、音楽祭に参加。帰国後、NHK-FM放送出演、東京文化会館におけるリサイタル、コヴァーチ・デーネシュ、カールマン・ベルケシュ氏他との室内楽の共演など演奏活動を行う。2014年秋よりウィーン国立音楽大学講師として後進の指導にあたり、2018年帰国。